

英語科学習指導案

指導者 河内長野市立西中学校
JTE 水澤 昌美

1. 日 時 平成25年12月6日(金) 6限目(14:20~15:10)

2. 学年・組 第3学年B組 10名 Basic Course

3. 場 所 3年英語教室B(1F)

4. 単 元 名 Unit 6 Break the Barrier (New Horizon English Course 3)
～「私の尊敬する人物」「私の興味ある人物」を紹介しよう～

5. 主な言語材料 This is a book I bought in the United States.
Jackie Robinson was a baseball player who played in the Major Leagues.
His debut in 1947 was an event that changed baseball history.
That is the message that he left for us.

6. 単元の目標

- 偉大な業績を残した人たちに興味・関心を持つ。
- ロビンソンの残した業績や生涯について読み、内容を理解する。
- 「私の尊敬する人物」「私の興味ある人物」についてのレポートを完成し発表する。
- 接触節や関係代名詞などの後置修飾を理解し、表現することができる。

7. 生徒の実態

習熟度別分割のクラス編成で、基礎、基本の学習課題を反復練習することにより、落ち着いて授業を受ける生徒が多くなってきている。プリント学習などは意欲的に取り組んでいる。後置修飾などの構文は、生徒にとって理解しがたく、定着しにくいので、2学期から始めたDiaryに既習の構文を取り入れるように伝えている。

8. 単元について(教材観・指導観)

大リーグの歴史を塗り替え、アメリカの人権問題に一石を投じたジャッキー・ロビンソンを取り上げている。彼の残した業績や生き方について読み、内容を理解するとともに、生徒が自身の今後の進路や生き方について考える機会としたい。

本単元では関係代名詞 **who, which, that** を学習することにより、人や物について説明する表現を理解させる。生徒に繰り返し文章を読ませたり、問題を解かせることで関係代名詞構文に慣れさせ、自らも文章を作れるよう導く。

「私の尊敬する人物」「私の興味ある人物」についてレポートを書くよう指導し、完成、発表させる。

9. 単元の評価規準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度 [コ]	外国語の表現の能力 [表]	外国語の理解の能力 [理]	言語や文化についての知識・理解 [知]
わからないことがあっても聞き返す、読み進むなどして、内容を理解しようとする。自分の意見を積極的に相手に伝えようとする。	伝えたい人物に関する内容や自分の意見を相手にわかりやすく伝えることができる。	紹介された人物について、具体的な内容や大切な部分を理解する。ロビンソンについて読み、話の内容を理解する。	接触節や関係代名詞の用法に関する知識を身につけている。また、教科書本文のテーマに必要な文化的背景について理解する。

10. 単元の指導計画

時	目標と主な活動	評 価				主な言語材料	
		コ	表	理	知		評価規準<方法>
1	単元のねらいを伝える。偉大な業績を残した人たちに興味・関心を持ち、それぞれがどのようなことを成したか大意をつかむ。	○		○	○	わからないことがあっても聞き返す、読み進むなどして内容を理解しようとする。 <行動観察>	教科書 p.62 リスニング Who is this ? ①～⑤
2	接触節の用法を理解する。			○		新出文法の用法を理解する。 <行動観察>	教科書 p.62 接触節の用法 This is a book I bought in the United States.
3	新出文法の用法の反復練習			○	○	新出文法の用法を理解する。 <行動観察> <プリント確認>	プリント
4	関係代名詞 who の用法を理解する。			○		新出文法の用法を理解する。 <行動観察> <ワーク確認>	関係代名詞 who の用法 ワーク
5	ロビンソンがどういう人物か、おおまかに知る。関係代名詞 who の用法を理解する。			○		教科書の内容を理解する。 <行動観察>	教科書 p.63 Jackie Robinson was a baseball player who played in the Major Leagues.
6	新出文法の用法の反復練習			○		新出文法の用法を理解する。 <プリント確認>	プリント

7	レポート発表のモデルを示す。 John Lennon 具体的な内容や大切な部分を聞き取る。			○	英文を聞いて内容を理解する。 <行動観察>	教科書 p.67 リスニング
8 ・ 9	紹介したい人物を選ぶ。 ・レポートの構想を考える。 ・発表原稿を書く。			○	わからない語句があれば辞書などを用いて調べる。 <行動観察> <ワークシート確認>	
10 本時	ロビンソンがどういう人物か簡単に口頭で表現する。 レポート発表			○ ○	関係代名詞 who を用いている。 発表者は、聞き手を意識した発表をする。(声量、態度) 聞き手は、発表者の紹介した人物を関係代名詞(主格)を用いて表現する。 <行動観察> <レポート発表>	教科書 p.63
11	ロビンソンの業績について読み、内容を理解する。			○	教科書の内容を理解する。 <行動観察>	教科書 p.64 関係代名詞 that/which (主格)の用法 It was an event that changed baseball history.
12	ロビンソンの生涯について知る。 関係代名詞 that/which(目的格)の用法を理解する。			○	伝記の情報を読み、内容を理解する。 <行動観察>	教科書 p.65 関係代名詞 that/which (目的格)の用法 That is the message that he left for us.
13	公民権運動について知る。 偉人紹介 Martin Luther King, Jr. 新出文法の用法の反復練習			○ ○	キング牧師率いる公民権運動について理解する。 <行動観察> <プリント確認>	プリント
14	後置修飾の総復習			○	<プリント確認>	プリント

1 1. 本時について

(1) 本時の目標

- 友だちの発表を聞いて、具体的な内容や大切な部分を理解する。
- 関係代名詞(主格)の用法を正しく理解し、用いることができる。
- 紹介したい人物に関する内容や自分の意見を、聞き手を意識しながら話す。

(2) 本時の評価規準

- 話の具体的な内容や大切な部分を聞き取っている。
- 関係代名詞(主格)の用法を正しく理解し、運用している。
- 紹介したい人物に関する内容や自分の意見を、聞き手を意識しながら話している。

(3) 本時の指導計画

	分	生徒の活動	指導者の支援	指導上の留意点▽教具など ◎評価規準<方法>
導入	1	Greeting 挨拶をする。		
	5 9	Review ・教科書 p63 の内容について思い出す。 ・教科書の音読をする。	ジャッキー・ロビンソンについて思い出させる。 Q : Do you remember who this is? Why is he famous? Sakura : May I ask you a question ? Ms. Brown : Sure. Sakura : Do you know who this is ? Ms. Brown : Yes. That's Jackie Robinson. He was a baseball player who played in the Major Leagues. Sakura : Why is he famous ? Ms. Brown : Because he was the first African-American Major Leaguer. Until then, the Major Leaguers were only for white players.	◎関係代名詞(主格)の用法を正しく理解し、用いている。
展開	30	発表 ① 自分の紹介したい人物について発表する。 ② 聞き手は、発表者の紹介した人物を関係代名詞を使って表現する。	発表の手順について指示する。 ・スピーチする内容を確認する。 ・発表者は聞き手を意識した発表をする。(声量、話す態度) ・聞き手は、PC モニターに映し出されたキーワードを用いて、英文を作る。	◎発表者は、聞き手を意識した発表をする。 ◎話された内容の大切な部分を聞き取る。 ◎関係代名詞を使った英文が正しく書けている。 <行動観察> ▽ワークシート ▽PC モニター
まとめ	5	Closing 発表のふり返りをする。 挨拶をする。	発表のふり返りをする。 ・よかった点、努力を必要とする点 次時の連絡をする。	

英語科学習指導案

指導者 河内長野市立西中学校
JTE 谷口 美佳

1. 日 時 平成25年12月6日(金) 6限目(14:20~15:10)

2. 学年・組 第3学年B組 24名 Advanced Course

3. 場 所 3年英語教室(1F)

4. 単 元 名 Unit 6 Break the Barrier (New Horizon English Course 3)
『20世紀のスター』～人物について紹介しよう～

5. 主な言語材料 This is a book I bought in the United States.
Jackie Robinson was a baseball player who played in the Major Leagues.
His debut in 1947 was an event that changed baseball history.
That is the message that he left for us.

6. 単元の目標

- 偉大な業績を残した人たちに興味・関心を持ち、わからないことがあっても、聞き返したり読み進むなどして内容を理解しようとする。
- ロビンソンの残した業績や生涯について読み、内容を理解する。
- 20世紀の偉人について主体的に調べ、レポートをまとめ発表する。また、クラスメートの発表を聞き、具体的な内容や大切な部分を理解する。
- 接触節や関係代名詞などの後置修飾を理解し、運用する。

7. 生徒の実態

真面目に物事をとらえ学習に取り組む生徒が徐々に増え、現在は落ち着いて学習する雰囲気ができている。相互に学び合える生徒集団を育てるため、日常の授業では積極的に取り組んでいる生徒をモデルとして、他の生徒の意欲向上につなげてきた。

しかし、依然として生徒は自信のなさから音読の場面で声が出にくいことや、積極的に自分の思いや考えを言う生徒が少ない現状がある。そこで、2学期から English Diary プログラムを継続的に取り入れ、自己表現をする機会を増やしている。授業では、生徒が気軽に発言できるような「ミニ発表」の場面を取り入れ、生徒の発表を促している。

8. 単元について(教材観・指導観)

大リーグの歴史を塗り替え、アメリカの人権問題に一石を投じたジャッキー・ロビンソンを取り上げている。彼の残した業績や生き方について読み、内容を理解するとともに、生徒が自身の今後の進路や生き方について考える機会としたい。

生徒は紹介したい『20世紀のスター』を選び、その人物について調べ、発表する。その人物が何を成したのか、そして生徒がその人物を取り上げた理由や自分の考えも書くよう指導する。

英語特有の接触節や関係代名詞などの後置修飾は、生徒にとって理解し難く、定着するのに時間を要す文法事項である。生徒が自然な文脈の中で活用し、理解が定着できるような場

面設定を工夫したい。

9. 単元の評価規準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度 [コ]	外国語の表現の能力 [表]	外国語の理解の能力 [理]	言語や文化についての知識・理解 [知]
わからないことがあっても聞き返す、読み進むなどして、内容を理解しようとする。自分の意見を積極的に相手に伝えようとする。	伝えたい人物に関する内容や自分の意見を相手にわかりやすく伝えることができる。	紹介された人物について、具体的な内容や大切な部分を理解する。ロビンソンについて読み、話の内容を理解する。	接触節や関係代名詞の用法に関する知識を身につけている。また、教科書本文のテーマに必要な文化的背景について理解する。

10. 単元の指導計画

時	目標と主な活動	評 価				主な言語材料	
		コ	表	理	知		
1・2・3	単元のねらいを伝える。 偉大な業績を残した人たちに興味・関心を持ち、それぞれがどのようなことを成したか大意をつかむ。 読み物資料・映像資料を見た後に、その内容に関する Q&A 活動をする。 偉人紹介 Mother Teresa 杉原千畝 Angelina Jolly	○		○	○	わからないことがあっても聞き返す、読み進むなどして内容を理解しようとする。 <行動観察> <ワークシート確認>	Mother Teresa found a dying man. He said the Jews had nowhere else to go and added that the Nazis were coming soon. Sugihara got a telegram from Tokyo which told him to move to Berlin.
4	レポート発表のモデルを示す。 John Lennon 具体的な内容や大切な部分を聞き取る。			○		英文を聞いて内容を理解する。 <行動観察>	教科書 p.67 リスニング
5	偉大な業績を残した人たちに興味・関心を持つ。 接触節の用法を理解する。			○		教科書の内容を理解する。新出文法の用法を理解する。 <行動観察>	教科書 p.62 接触節の用法 This is a book I bought in the United States.
6	ロビンソンがどういう人物か、おおまかに知る。 関係代名詞 who の用法を理解し、簡単な対話をする。			○		教科書の内容を理解する。 <行動観察>	教科書 p.63 関係代名詞 who の用法 Jackie Robinson was a baseball player who played in the Major Leagues.
7	紹介したい人物を選び、調べる。(PC room)		○			わからない語句があれば辞書などを	

	<ul style="list-style-type: none"> ・レポートの構想を考える。 ・発表原稿を書く。 				用いて調べる。 <行動観察> <ワークシート確認>	
8	ロビンソンの業績について読み、内容を理解する。			○	教科書の内容を理解する。 <行動観察>	教科書 p.64 関係代名詞 that/which (主格)の用法 It was an event that changed baseball history.
9	教科書本文のテーマに必要な文化的背景について知る。ロビンソンに関する映像資料を視聴する。 レポート発表①			○ ○	発表者は聞き手を意識した発表をする。(声量、態度)発表を聞き、大切な部分を理解する。 <レポート発表①>	
10 本時	ロビンソンの業績について、簡単に口頭で表現する。 レポート発表②			○ ○	関係代名詞 who を用いている。 <行動観察> <レポート発表②>	教科書 p.64
11	ロビンソンの生涯について詳しく知る。 関係代名詞 that/which(目的格)の用法を理解する。			○	伝記の情報を読み、内容を理解する。 <行動観察>	教科書 p.65 関係代名詞 that/which (目的格)の用法 That is the message that he left for us.
12	公民権運動について知る。 偉人紹介 Martin Luther King, Jr. レポート発表③			○	キング牧師率いる公民権運動について理解する。 <行動観察> <レポート発表③>	
13	教科書内容についての Q&A ロビンソンの生涯について、文章にまとめる。 レポート発表④			○ ○	正しく文章にまとめる。 <行動観察> <レポート発表④>	教科書 p.66 review
14	後置修飾の総復習。			○ ○	英文を正しく書いている。 <ワークシート確認>	

1 1. 本時について

(1) 本時の目標

- 友だちの発表を聞いて、具体的な内容や大切な部分を理解する。
- 関係代名詞(主格)の用法を正しく理解し、用いることができる。
- 紹介したい人物に関する内容や自分の意見を、聞き手を意識しながら話す。

(2) 本時の評価規準

- 話の具体的な内容や大切な部分を聞き取っている。
- 関係代名詞(主格)の用法を正しく理解し、運用している。
- 紹介したい人物に関する内容や自分の意見を、聞き手を意識しながら話している。

(3) 本時の指導計画

	分	生徒の活動	指導者の支援	指導上の留意点▽教具など ◎評価規準<方法>
導入	2	Greeting 挨拶をする。		
	5 13	Review ・教科書 p64 の内容について思い出す。 ・教科書の音読をする。 ①新出単語の音読 ②チャンク単位で音読 ③ペアで音読	ジャッキー・ロビンソンの業績について思い出させる。 Q : Do you remember who this is? Why is he famous? Jackie Robinson was a baseball player who played in the Major Leagues. He was the first African-American Major Leaguer. He made his debut in 1947. It was an event that changed baseball history. debut, event, broke, steal, led(<lead) championship, won(<win), MVP, rookie award	▽PC ◎関係代名詞(主格)の用法を正しく理解し、用いている。 ▽CD player ▽単語カード
展開	10 15	the 20th Century Greats 発表 ①自分の紹介したい人物についてグループ内で発表する。 ②聞いている人は、その内容の要約を言う。 ③Best speaker of Today を1人選ぶ。 ④全体の前で発表する。4～6人 ⑤聞き手は聞き取った内容を言う。	発表の手順について指示する。 ・スピーチする内容(偉人の名前、活動内容、my comment)を確認する。 ・発表者は聞き手を意識した発表をする。(声量、話す態度) ・聞き手は、スピーチから聞き取った内容の要約を言う。 →大切な部分が伝わっているか確認する。	◎発表者は、聞き手を意識した発表をする。 ◎話された内容の大切な部分を聞き取る。 <行動観察> ▽ワークシート ▽PC モニター
まとめ	5	Closing 発表のふり返しをする。 挨拶をする。	発表のふり返しをする。 ・よかった点、努力を必要とする点 次時の連絡をする。	